保管用

施工説明付き

保証書別添付

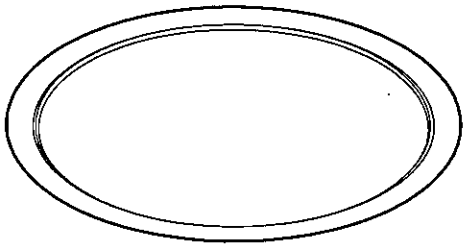
Panasonic

取扱説明書

住宅用照明器具（シーリングライト）

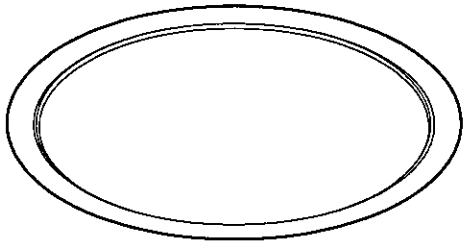
品番 電球色 HFA1314 , HFA1315
昼白色 HFA1314N , HFA1315N

HFA1314 , HFA1314N



●枠：透明

HFA1315 , HFA1315N



●枠：透明・ホワイト仕上

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2～3ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 …… 2
各部のなまえと付属部品 …… 3
照明器具を取り付ける …… 4
照明器具を取り外す …… 5
あかりをつける・消す …… 6
照明器具のチャンネルを変更する …… 7
お手入れ・ランプ交換 …… 7
ご使用上に関するお知らせ …… 7
故障かな？と思ったら …… 裏表紙
保証とアフターサービス …… 裏表紙

◎上手に使って上手に節電

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

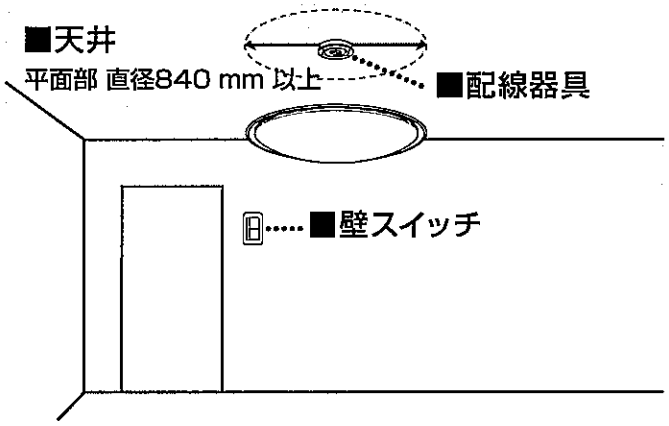
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれのある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■天井
平面部 直径840 mm 以上
■配線器具
■壁スイッチ



■天井

必ず守る

●必ず上図のような平面部の直径が840 mm 以上の天井に取り付ける。
落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない。
落下によるけがのおそれがあります。

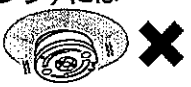
禁止

●傾斜した場所に取り付けない。
火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

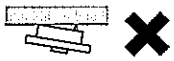


禁止

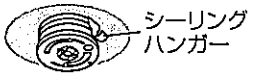
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない。
落下によるけがのおそれがあります。

出しろの少ないもの

斜めに取り付けられたもの



シーリングハンガーが取り付けられたもの



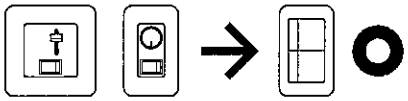
ケースウェイに取り付けられたもの

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(交換には資格が必要です。)

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する。
火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」
(保証書内在中)に基づき、自主点検
してください。

●**付属の梱包材は取り除いて使用する**
そのまま使用すると、火災の原因と
なることがあります。

●**カバーは確実に取り付けてください**
落下してけがのおそれがあります。

接触禁止

●**点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない**
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプや
その周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●**浴室など湿気の多い場所や**
屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

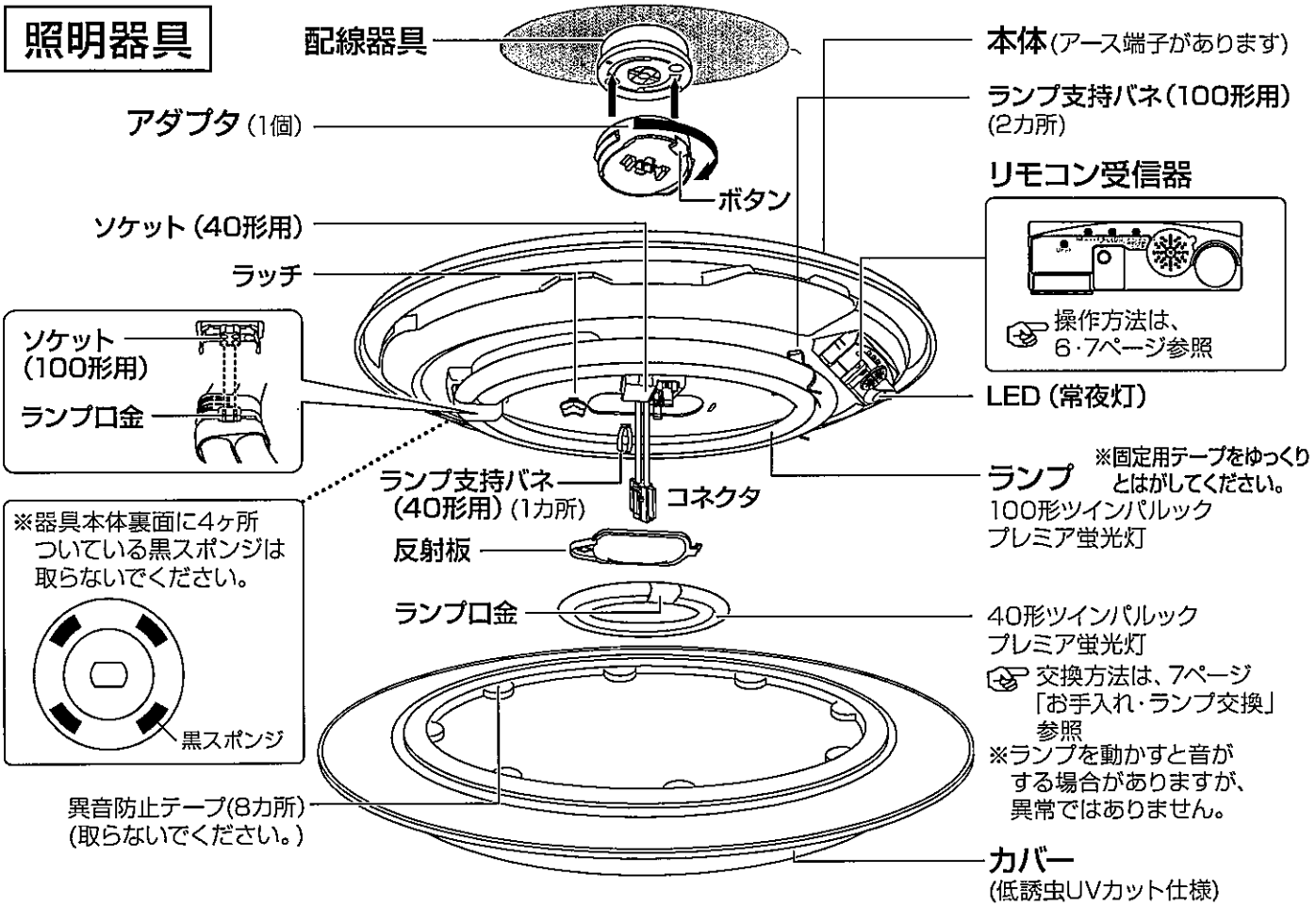
●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

	品番	使用電圧	周波数	消費電力	ランプ	
仕様	HFA1314 , HFA1315	AC 100 V	50/60 Hz 共用	120 W (リモコンOFF時1W以下)	(100形+40形)ツイン パルックプレミア蛍光灯	電球色
	HFA1314N , HFA1315N					昼白色

照明器具



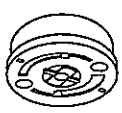
本体取り付け用付属部品

アダプタ(1個)

補修品番
NZ2716M

配線器具

丸型フル引掛シーリング
(1個)

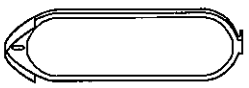


●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

引掛シーリング用木ネジ(2本)

反射板

(1個)



照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け方

1 天井についている配線器具を確認する

下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

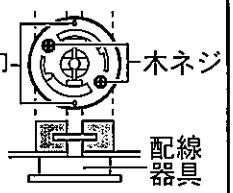
◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

⚠ 警告

必ず守る **目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける**

落下してけがのおそれがあります。



天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

丸型フル引掛シーリング

フル引掛ローゼット

角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

天井からの出しろが22mmの配線器具

2 の作業へ進んでください。

引掛埋込ローゼット

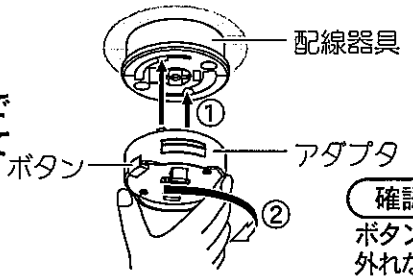
引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

天井からの出しろが11mmの配線器具

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

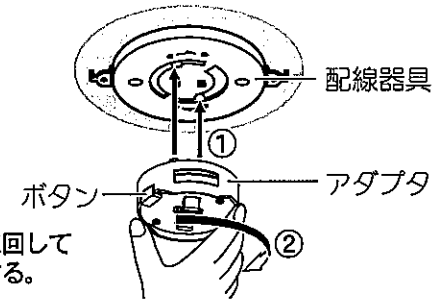
①位置を合わせる

②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける



確認

ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。



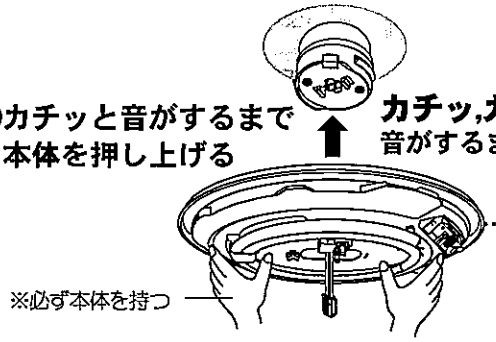
3 本体を押し上げて取り付ける

◎取り付けの際、ランプを持たないでください。

①内側のランプ（40形）をランプ口金から外す。

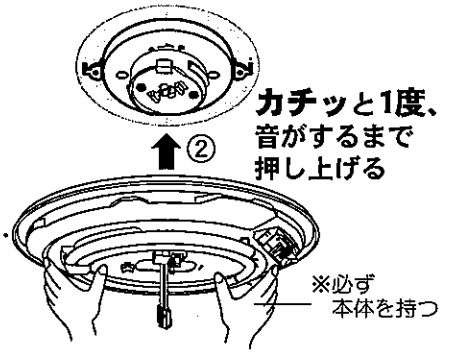
②カチッと音がするまで本体を押し上げる

カチッ,カチッと2度、音がするまで押し上げる



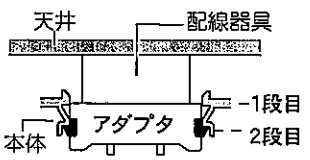
※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

カチッと1度、音がするまで押し上げる



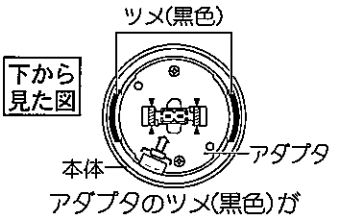
●アダプタの本体取り付け位置

横から見た図



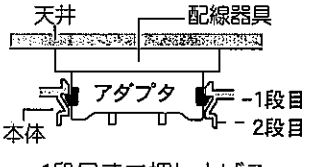
2段目まで押し上げる

下から見た図



アダプタのツメ(黒色)が両方見えるまで本体を押し上げる

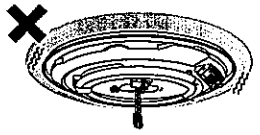
横から見た図

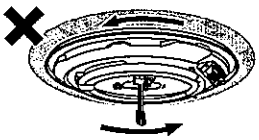


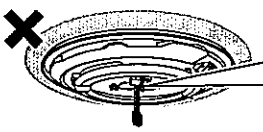
1段目まで押し上げる

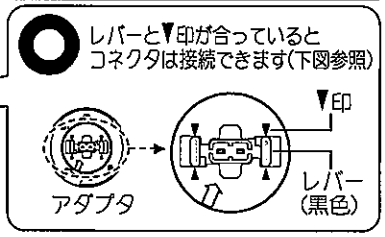
確認

本体が正しく取り付けられていることを必ず確認する。


本体がグラグラする


本体が簡単に回転する

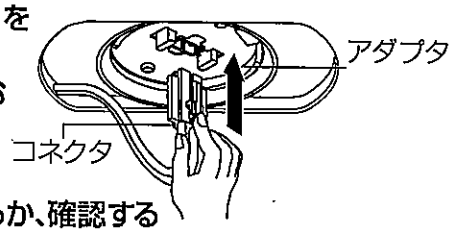

アダプタのレバーが正しい位置にきていない



上図の場合、正しく取り付けされていないので**3**を再度行ってください。

4 コネクタをアダプタに差し込む

①コネクタを
確実に
差し込む

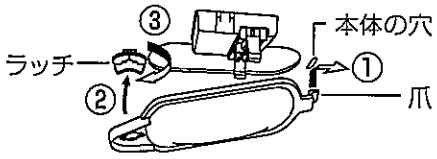


②点灯するか、確認する

確認 コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ 3 に戻る。

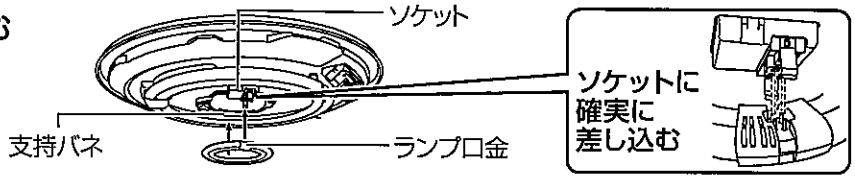
5 反射板を取り付ける

①本体の穴に反射板の爪を引掛ける
②ラッチに差し込む
③ラッチを回す



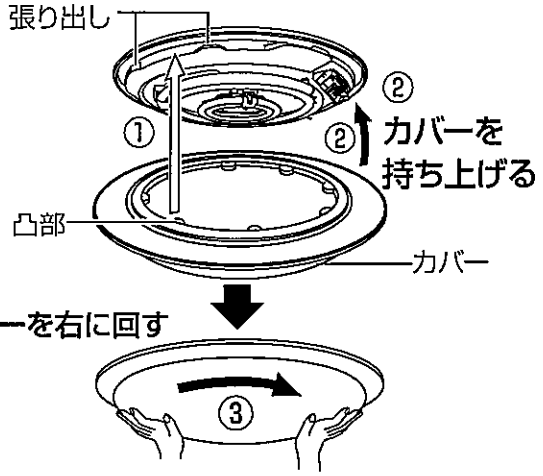
6 ランプ(内側の40形)を取り付ける

①ランプ口金をソケットに差し込む
②支持バネで固定する



7 カバーを取り付ける

①カバーの凸部を本体の張り出し部の間に合わせる



③カバーを右に回す

⚠ 注意

必ず守る ■カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

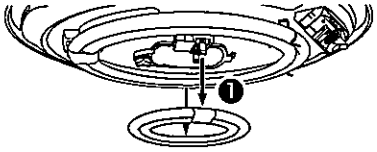
確認 バランスを見て、カバーが水平に
取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、再度、7 を行う。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

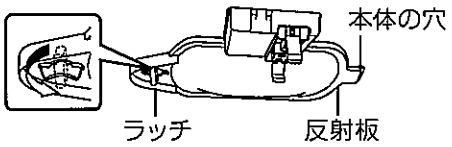
①ランプ(内側の40形)を外す

❶ランプ口金側を外す



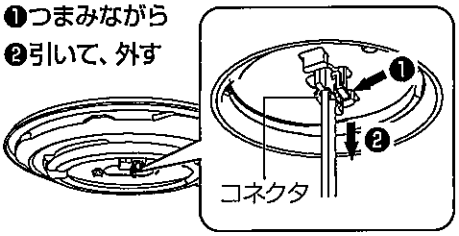
②反射板を外す

ラッチを回して外す



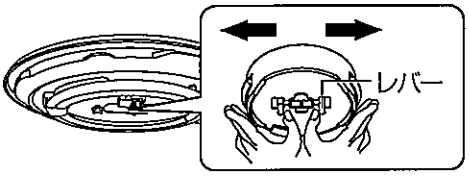
③コネクタを外す

❶つまみながら
❷引いて、外す



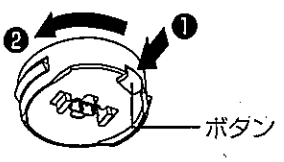
④本体を外す

本体を支えながらレバーを
矢印の方向(左右)に広げる



⑤アダプタを外す

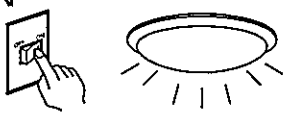
❶ボタンを押しながら
❷左に回す



壁スイッチで照明器具を操作する

消灯・点灯する

壁スイッチ ON　点灯



記憶している前回の「消灯前の明るさ」で点灯します

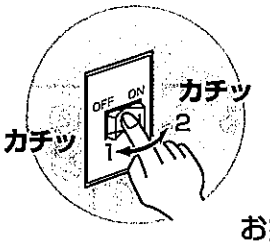
壁スイッチ OFF　消灯

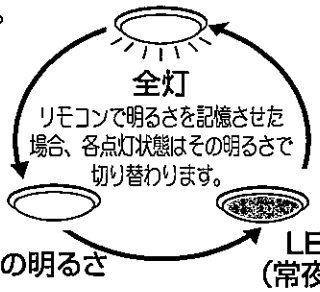
今回の「消灯前の明るさ」を記憶して消灯します

●全灯ボタンで点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は記憶されません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

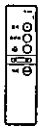




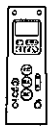
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコン(別売)で照明器具を操作する　壁スイッチはONの状態にしてください。

別売のリモコンで、照明器具の操作ができ、蛍光灯、LEDの明るさが変えられます。
機種によりタイマーの機能があります。

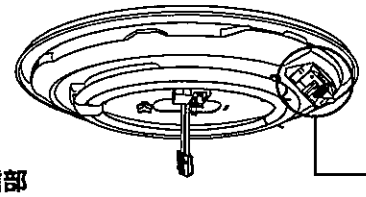


HK9327K
- ●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能

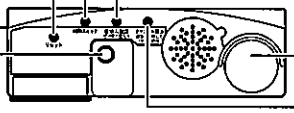


HK9470
- ●タイマー機能
- ●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能
- ●LED手元灯付き

リモコン受信器(本体)



リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。



リセットスイッチ
動作が異常の場合の初期化などに使用
各種設定を出荷時の初期設定に戻せます。

補助スイッチ
押すごとに消灯/全灯

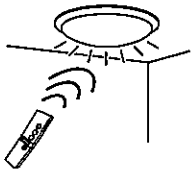
音切入設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入

LED(常夜灯)

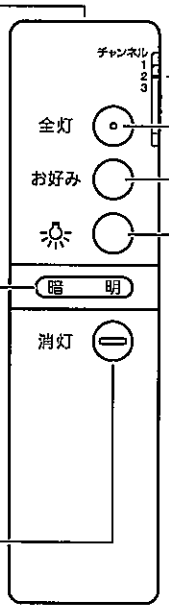
チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞ 7ページ「照明器具のチャンネルを変更する」参照

リモコン(別売)　(例)HK9327Kの場合

送信のしかた
必ず「リモコン送信部」を照明器具に向けて操作してください。



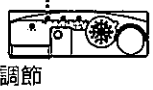
リモコン送信部
※傷つけたり、汚したりしないでください。



チャンネルスイッチ
操作する器具のチャンネル (1~3) を設定
☞ 7ページ「照明器具のチャンネルを変更する」参照

全灯ボタン　蛍光灯が100%の明るさで点灯

◎全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100%~約25%の範囲で設定できます。
①「全灯ボタン」を押す
②リモコン受信器の「補助スイッチ」を「ピッ」と音がするまで押し続ける
③「明/暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節
④「全灯ボタン」を押す
⑤本体から「ピピーッ」と音がして変更完了



明/暗ボタン
蛍光灯点灯時
100%~約25%に
明るさを連続調整
LED点灯時
6段階に
明るさを調整

お好みの明るさボタン
蛍光灯が明/暗ボタンで変更した明るさで点灯

消灯ボタン

LED(常夜灯)ボタン
LEDが明/暗ボタンで変更した明るさで点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

HFA1314−T3C2

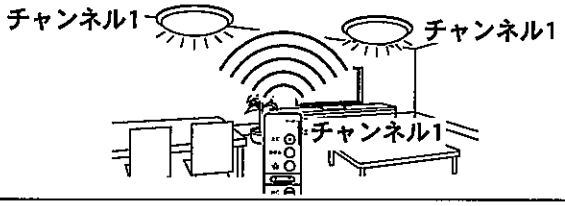
照明器具のチャンネルを変更する

複数のリモコン照明器具を操作できます

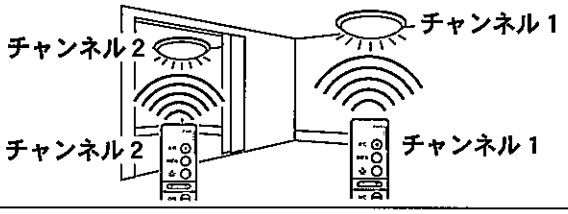
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合

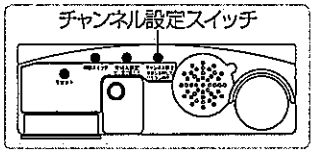


●近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



チャンネルの設定方法

①リモコン受信器の「チャンネル設定スイッチ」を押す

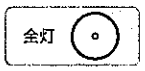


➡

②

リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例:チャンネル1)

➡

③ 

リモコンのいずれかのボタンを押す
↓
「ピピーッ」と音がして設定完了

お手入れ・ランプ交換

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的 (6カ月に1回程度) に清掃してください。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

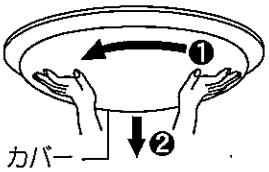
●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。ランプを交換してください。

●パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。

ランプの交換方法

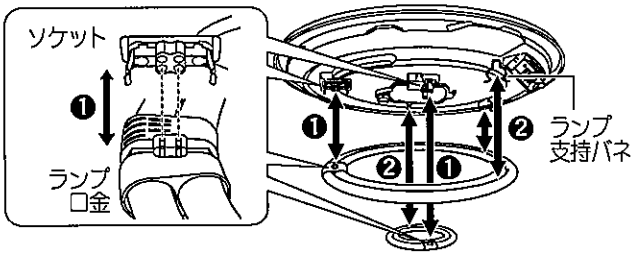
①カバーを取り外す

❶カバーを止まるまで左に回す
❷カバーを外す



②古いランプを取り外す

❶ランプ口金側を外す　❷ランプ支持バネ側を外す



③新しいランプを取り付ける

❶ランプ口金を確実にソケットに差し込む
❷ランプ支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

5ページ「照明器具を取り付ける」手順 7 参照

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合ががあります。
●非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。
●低誘虫 (虫がよってこない) 機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【 周囲の影響 】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●近すぎる場所にあるリモコン機器 (エアコンなど) のリモコンが動作しにくくなることがあります。

故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度抜き、…… ②本体を押し上げてから…… ③コネクタを再度、差し込む……	☞ 5ページ「照明器具を取り外す」 ☞ 4ページ 3 ☞ 5ページ 4
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	☞ 7ページ「お手入れ・ランプ交換」
	ランプが切れている	ランプを交換する	
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	6ページ ☞「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで操作できない（液晶が表示しない）	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞ お使いのリモコンの取扱説明書
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する	☞ 7ページ「照明器具のチャンネルを変更する」

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り再度入れる
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③器具のチャンネルを変更する☞ 7ページ「照明器具のチャンネルを変更する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　）　ー
お買い上げ日　　年　　月　　日

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
●保障期間終了後は、診断して修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

修理を依頼されるときは…
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用照明器具
●品　　番	○○○○○○
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については３年間です。
またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年
＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571−8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012

HFA1314−T3A3
N0409−051111